

金沢海みらい図書館「おはなしの森」

団体名●こどもフィールド演習(直江フィールド)／担当教員●直江学美(人間科学部准教授)

はじめに

目的は、地域のこどもと図書館を繋ぐことである。活動先の金沢海みらい図書館は2011年に開館した。金沢市に3つある既存の市立図書館は、いずれも金沢駅の東側エリアにあるため、海みらい図書館は金沢駅の西側エリアにおける初めての市立図書館となった。そのため開館当初は図書館というものに馴染みのない地域住民も多く、図書館と地域住民がより良く繋がることが課題であった。

本活動は、開館当時の課題に対して、まずは「こどもたちが図書館に来るきっかけ」および「こどもが本に親しむ仕掛け」を、当時の図書館員と話し合ったことに始まる。このように「こどもと図書館と繋ぐ」一方、活動を通して、学生も「地域に学び、成長できる場」となることを目標としている。本活動は、代々ゼミ生が受け継いでおり、本年度で8年目を数える。

活動内容

「こどもと図書館を繋ぐ」ことを目的としたこども向けイベント「おはなしの森」を年6日、それぞれ午前11:00-11:45、午後14:00-14:45、1日2回行う。幼児から小学校中学年程度までを対象にしている。

各回ごとにリーダーを決め、リーダーが主体的に図書館と連絡を取ったり、他のゼミ生をまとめたりしながら、企画運営を行う。

【2019年度の活動日・テーマ・リーダー】

第1回2019年5月26日(日)「みんなのお花をさかせよう」長谷川真央、第2回2019年7月14日(日)「みんなでお空をみあげてみよう!」西美穂、第3回2019年8月9日(金)「夏だ!お祭りに行こう!!」深川紗葵、第4回2019年11月10日(日)「元気もりもりな体をつくろう!」松井優果、第5回2019年12月15日(日)「とどけ!サンタさんへのおねがい」笠間佑季、第6回2020年1月25日(土)「たのしい春をむかえよう!」田部井小乃実

毎回、季節や活動に合った絵本の読み聞かせを2-3冊行い、ゲームや工作などを盛り込んで企画を立てる。午前の部が終わったら、図書館司書の方を



交えて反省会を行い、改善をしてから午後の部を行う。企画・準備→1回目開催→反省・改善→2回目開催を繰り返すことで、学生も多くを学んでいた。

活動例(約45分)①トーンチャイム演奏「きよしの夜」→②クリスマスクイズ→③絵本読み聞かせ「おたすけびとのクリスマス」(なかがわちひろ・作、コヨセジュンジ・イラスト)→④活動「おたすけびとになろう」(サンタさんにプレゼントをもらう)→⑤活動「サンタさんにお手紙を書こう」→⑥絵本の読み聞かせ。(今年度の参加者:こども317人、大人218人、合計535人)

成果、結果の考察

回を重ねるごとに、ゼミ生のチームワークや学生の問題解決能力が向上していった。海みらい図書館のゼミ生に対する理解や一緒に学生を育てようとする働きかけも細やかで、学内ではできない経験ができていく。「おはなしの森」は少しずつ地域に浸透しており、繰り返し来てくれる親子も多い。

今後の課題、展望

学生や大学の予定も多く、準備の時間を合わせることも難しくなっているが、学生は主体的に準備・企画・運営をしていると感じる。今後も引き続き、こどもと図書館の繋がりを維持するために「おはなしの森」を地道に運営する事が必要であると考えている。